

発達障害のあるお子さんは、本人の困り感が周囲に理解されにくく、誤解されたり、ふざけていると思われたりしがちです。

その行動の背景がどこにあるのか、保護者や学校、関係機関が連携しながら考え、**一人ひとり**に合った支援をしていくことが大切です。

例1

授業中に思いついたことを大声で話したり立ち歩いたりしてしまいます。

⇒他の子より色々なことが気になってしまいじっとしてられない場合があります。

例2

相手の表情や場の雰囲気を読み取れず友達との会話がかみあいません。学校で孤立するのが心配です。

⇒明文化されないルールや暗黙の了解のくみとりが苦手なタイプかもしれません。

例3

漢字が覚えられず、作文を書く時も平仮名ばかり。書取の宿題も大変です。

⇒形をとらえられない、見え方に課題があるケースもあります。



お子さんの発達についてお気軽にご相談ください

台東区の相談窓口

教育相談(教育支援館)	☎ 5246-5855
就学・就園相談(学務課)	☎ 5246-1416
松が谷福祉会館	☎ 3842-2671
台東保健所保健サービス課	☎ 3847-9497
浅草保健相談センター	☎ 3844-8171
日本堤子ども家庭支援センター	☎ 5824-2535
台東子ども家庭支援センター	☎ 3834-4497
寿子ども家庭支援センター	☎ 3841-4631

その他、各校の特別支援教育コーディネーターやスクールカウンセラーにもご相談ください。

関連施設

東京都発達障害者支援センター	☎ 3426-2318
東京都児童相談センター	☎ 5937-2314

このリーフレットについてのお問い合わせ 総合発達支援体制庁内検討会

事務局 松が谷福祉会館
所在地 台東区松が谷1-4-12
TEL 3842-2671


発行日 平成31年3月

発達障害を 知っていますか?

学齢版



発達障害を理解して いただくために

 台東区

お子さんの様子で気になることはありませんか？

例えば…

相手の表情や気持ちをくみとれず
コミュニケーションがうまく取れません。



「きちんと」「ちょうどよく」「きれいに」等
明確でない言葉の指示が理解できません。



理解力はあるのに漢字が覚えられない等
学習の一部が極端に苦手です。



ちょっとしたことに大げさに反応して
授業中に離席したり教室を出たりしてしまいます。



発達障害には、早期発見・早期療育と地域の皆さんの理解が大切です

発達障害は見た目にはわかりづらく、周りの人たちには理解できない行動となってあらわれることがあります。家庭環境や育て方が原因ではありません。

発達障害のある人は、障害の早期発見と適切かつ継続的な支援、周囲の方々の正しい理解があれば、個性を伸ばし、自分の特性と付き合いながら生活していくことができます。



発達障害は主に次のとおり分類されますが、同じ発達障害でもお子さんの個性や発達の状況、年齢、環境などによって目に見える症状はさまざまです。

学習障害 (LD)

- 読むことが苦手
- 書くことが苦手
- 計算することが苦手 など



高機能自閉症 (ASD) アスペルガー症候群

- こだわりが強い
- コミュニケーションの障害
- 相手の立場で考えられない
- パターン化した行動
- 特定の音や物に対する不安 など



注意欠陥多動性障害 (AD/HD)

- 不注意
- 多動・多弁・集中が続かない
- 衝動的な行動 など



発達障害とは

発達障害のある方の自立や社会参加を進めるために平成17年に施行された「発達障害者支援法」では、発達障害は「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」とされています。また、この法律では、発達障害の早期発見、早期支援を国や地方自治体に義務付けるとともに、国民の理解、協力を求めています。